

Adonis アドニス [ふくじゅ草]

北海道看護協会 北網支部ニュース
2016年11月 編集責任者：中西 真由美



北網支部では、研修会や交流会を通じて会員間の交流と連携を図り、地域住民のニーズに応えられるような支部活動を目指しています。今年度も昨年度に引き続き「ふくじゅ草」にて支部活動の様子を伝えていきます。今号では第33回看護研究会、働き続けられる環境づくり学習会の活動報告と認知症高齢者ケアの様子を紹介します。

活動 報告

第33回看護研究会・働き続けられる環境づくり学習会 7月10日（日）北見赤十字病院 多目的ホールミント

7月10日に開催した「第33回看護研究会・働き続けられる職場づくり学習会」。会場となった北見赤十字病院 多目的ホールには、125名が集まり、「勤務環境の改善」をテーマにワーク・ライフ・バランスについての学習会を行いました。看護研究会では、10題の演題発表があり、各病院・施設の特殊性を明らかにし今後の改善に繋がられる内容でした。



<参加者としての感想>

今回初めて参加したが、自部署に活かせることや新しい考え方として刺激を受け、発見があった。

<共同研究者としての感想>

透析中の限られた時間で話したり、調査することが大変だったが、この研究をすることで、数名だったが患者の行動変容に繋がったことが凄く良かった

<発表者としての感想>

質問もあり、地域包括ケアへの関心の高さを感じた。どこの施設でも退院支援に苦労していると思うので、参考になれば幸いです。

研修 Report

支部企画研修「認知症高齢者ケア」
8月6日（土） 端野町 公民館

認知症高齢者ケア研修会に参加して

丸玉産業株式会社 津別病院 赤坂 紀子

北網支部企画研修では緩和ケア以来の参加でした。今回、入院患者の大多数が高齢者の当院において、入院加療の要因となった疾患と共に重要である認知症ケアを改めて見直す事ができました。

全般的な高齢者の身体的・精神的の両側面から見た特徴から講義が始まり、認知症の基礎知識

・認知症ケアにおける倫理・支援を考えながらのグループワークと進められる中、私達は患者様をどう受け止めて対応してきたのかと反省する面の多いことに気付きました。

7月に北見市にて公演された川島みどり先生が自書で語られている「結局のところ、認知症ケアは、その考えも行動も自分が試されているのだ」と言う一節も重く感じました。

高齢者・認知症に関わらず、全ての関わる患者様にもっと心を寄せたいと思いました。



お知らせ

- ・H29年2月18日 会場：網走エコセンター
- ・「三職能交流研修」
- ・「H29年度北網支部大会」

次回掲載予定「基礎から学ぶフィジカルアセスメント」「小規模病院等施設間交流研修」参加レポート

編集後記

Adonis(アドニス)【ふくじゅ草】をこのホームページ上で掲載して4年目になりました。パソコンでの編集作業になるため、まだまだ不慣れな部分を否めませんが、機能を駆使して頑張っていきたいと思います。広報から急なお願いにも関わらず、研修参加のレポートを快くお引き受け下さった皆様ありがとうございます。そして今後も北網支部から皆様をお願いをするかもしれませんが、ご協力の程よろしく申し上げます。

北網支部広報委員：古川・佐久間・篠木